

8月6日 平和学習

原爆が投下された8月6日に、74回目の平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）がありました。広島県に住んでいる私たちは、決して忘れてはならない日です。過去の戦争や原爆投下を知らない子ども達ですが、平和学習を重ねていくことで、過去にどんなことがあったのかを知り、これからどうしていくべきかを考える機会としてほしいと思います。

登校後、テレビで「平和記念式典」を見ました。広島に原爆がおとされた8時15分には、黙祷をし、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。また、子ども代表「平和の誓い」も聞きました。

子ども代表「平和の誓い」から

国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なものを思う気持ちは同じです。
みんなの「大切」を守りたい。
「ありがとう」や「ごめんね」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。
自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。

今年も、山本先生に来ていただき「平和学習」を行いました。原子爆弾の恐ろしさ、原爆投下当時の現状について、ご自身の体験のお話や写真・絵などでの説明をしていただきました。みんな真剣に聞きました。

「みなさんは、過去のことを知りません。おじいさんやおばあさんから、昔のことを聞くことが大事です。ぜひ話を聞いてみてください。」と山本先生。聞くことで、知ることができます。想像することができます。考えることができます。一人一人が平和について考えていきましょう。